



◀エコパークだけの「ドンブチ染め体験」

ドンブチ染めは、池新田にあるドンブチと呼ばれる井戸の水を利用する。井戸水が、発色作用のある鉄分を多く含んでいることから、染物用井戸として大正時代から愛用されていた。染料となるのは木の皮やイマメの新芽。ドンブチ染めは抗菌防臭効果があることも分かっている。当時の技法を継承する団体は、市内でエコクラブのみとなってしまった。同クラブでは、その伝統的な染め方を後世に伝えていくため、定期的にドンブチ染め体験を実施している。

エコパークは園児に大人気の公園です



よこ やま さと み
横山里美 副園長（御前崎幼稚園）

自然と触れ合える公園なので、課外授業はエコパークを利用しようと、先生同士で相談していたんです。実際に公園に行くと、園児たちは、ドングリ拾いやシラス網で作られたハンモックに乗って大はしゃぎでした。「またエコパークに行こうよ」という園児の声も聞かれます。

大人も自然を満喫できる公園ですね



さぎ さか ゆ き こ
匂坂由紀子さん（下岬区）

公園がきれいに整備されていて驚きました。子どもだけではなく、大人も自然と触れ合うことができますね。花がきれい、とても癒されました。エコクラブの人が、子どもに貝殻をくれたのですが「海と電話してるんだ」と今までに見たことがない一面も見ることができました。

エコパークの自慢。それは、何ととっても美しい姿を見せる四季折々の花々だろう。廃材などを利用して作られた花だんには、350種類を越える花が季節ごとに咲き乱れ、訪れる人たちの心を和ませる。この花々は、エコクラブ会員が種から育てたものや他の団体から譲り受け、会員が地道に増やしていったものだ。経費は最小限に、美しさは最大限に。まさに「エコ」パークの名に恥じない部分といえる。公園内には、数十年に一度しか花を咲かせないリュウゼツランも群生している。今年が

まさにその年だった。9月には愛らしい黄色い花を咲かせ、県内外から訪れた来場者の目を楽ませた。この魅力は花だけではない。駐車場奥の並木には、シラス網で作られたハンモックがあり、子どもたちに大人気。来場者が多いときには行列ができるほどだ。ビオトープの池には水生生物が生息し、夏にはザリガニ捕りする子どもたちの歓声が聞こえてくる。野鳥や珍しいチョウ、昆虫も頻繁に確認されることから、研究者やカメラマンからも足繁く通っている。

エコパークのほぼ中央に立つ休憩所。その中にある石机の脇に、一冊のノートが置かれていた。「ここに、こんなにたくさんのお花が咲いているなんて初めて知りました」「散歩がてらに寄りました。心が和みます」「美しい花々に感動しました。また来たいと思います」「自然豊かなこの公園が大好きです」など、この場所を訪れ、心を癒された人々の声がつづられている。手にとつて読み進めるだけで、自然と笑顔になってしまう。さまざまの魅力にあふれる憩いの公園、それがエコパークだ。